

高校生グローバル化教育支援のための 高校への留学生派遣プログラム

本プログラムは

千葉大学に留学中のASEAN諸国の大学院生、学部生たちが高校を訪問し、自分たちの研究や文化紹介をして、高校生と交流するプログラムです。

開催例

実施場所：千葉県立千葉東高等学校

参加：千葉東高校の生徒、教員

(物理部、化学部、生物部、地学部の部員)

留学生：インドネシア、タイの大学院生、大学生

(留学生引率：教員1名、TA2名)



▲全体の集合写真

【当日の流れ】

- あいさつ
- 高校生による部活紹介（物理部、化学部、生物部、地球科学部）
- 高校生と留学生の交流会
- 留学生による研究紹介（インドネシアの紹介と研究発表）
- 終わりのあいさつ



▲高校生による部活紹介



▲交流会の様子



▲留学生による研究紹介

【参加したTAの感想】

最初はとても緊張しているようで、固い表情の高校生が多かったです。一方では高校生による部活紹介は留学生にとってとても興味深かったようでたくさんの質問をしていました。交流会では高校生も積極的にコミュニケーションをとっていて、留学生が持ってきたドリアンのお土産や、日本の抹茶味のお菓子、アニメや漫画の話で盛り上がっていました。留学生によるインドネシアの紹介、研究紹介を理解しようと真剣な表情で聞いていました。留学生は流暢な英語でコミュニケーションを積極的にとっていて、プレゼンテーションもとてもわかりやすかったのが印象的でした。今回の交流会が終了する頃には、とても打ち解けていて楽しそうに会話を交わしていました。最後に高校生のリクエストで、インドネシアの子どもたちに人気の歌を教わり、全員で歌い、解散となりました。

普段は体験できない留学生との交流は、とても良い刺激になったと思います。